

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [明石市立魚住東中学校] 担当教諭名 [栗村 昌宏] (美術部1・2年 20名)
 交流相手国 [インドネシア]
 海外学校名 [SMA Negari 1 Gianyar] 担当教諭名 [Ni Kadek Yuerna]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教科	単元名	時間数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように 必要に応じて行を追加して ください)	部活動	私達の明石調べ	5
	部活動	下絵制作・本制作	50
	美術	アートマイル作品の鑑賞	1

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	Local culture [私達の街や地域の文化]
絵に込めたメッセージ	自分達の住んでいる街には、どんな文化が根ざしているのだろうか？ お互いに、それを調べて、紹介する絵を同じ画面に並べて描くことにより、海を越えて文化交流したい。また、境目には、両国の国旗を並べ、それを友好の絆を表す幾何図形で結び、その両脇には、笑顔を溢れさせる構成で、友好平和を表現した。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・ガイドブックではない、同世代の方々が日常生活の中で触れたり携わったりしている文化を知ることができた。 ・相手国の文化知ること、あらためて自分達の文化の良い所に気付き、自分達をもっと日本や明石の伝統文化を大切にしなければならないことに気が付いた。 ・当たり前のことだが、インドネシアにも、自分と同じように、それ以上に一生懸命生きている人がいることを、実感できた。 	<p>語学力をさらに身に付けないといけないことを実感させられた。</p> <p>通信手段が、教師同士のフォーラムとお互いのメールしか出来ず、生徒同士で直接交流することが出来なかった。</p>

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
<ul style="list-style-type: none"> ・アートクラブグランプリ(全国中学校美術部作品展)のメーリングリストにも取り組みの経過報告をし、多くの美術部顧問に共感してもらった。 ・地元新聞社に取材を依頼し、アートマイルの取り組みの素晴らしさを記事にしてもらった。 ・全クラスの美術の授業で、仕上がった作品を鑑賞した。 	

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・私達の街「明石、魚住」を調べて、相手国に紹介するレポートを作ろう。 ・自分の街をスケッチしよう。 ・自己紹介カードをつくろう。 	自分達の住んでいる街の良さに改めて気付くことが出来た。	部活動
情報収集	9月	<ul style="list-style-type: none"> ・「明石、魚住調べ」をもとに、何を描くか？を考えながら、描けそうな主題について、現地に出かけて取材しよう。 ・取材をもとに描けそうなシーンを沢山アイデアスケッチしておこう。 	沢山の取材資料を、集めることが出来、10月には充実した明石調べ発表会をすることが出来た。	部活動
テーマ検討	10月 11月	<ul style="list-style-type: none"> ・取材したものと、アイデアスケッチを持ち寄って、話し合っって描くものを絞り込んでいこう。 ・実際のキャンバスと同じ縮尺の用紙に構成を考えて下絵を描こう。 ・相手国と相談して区切り方と繋ぐ物決めるために、何個かのプランを選択しよう。 ・構成の決定、色の決定。 	<p>みんなで話し合い、テーマを絞り込み、グループに分かれてさらに突っ込んだ話し合いがなされて、どんどん構想が深まっていた。</p> <p>みんなで色々なアイデアを出し合うことで、お互いの良い所を組み合わせ、構想を決めていくことが出来た。</p>	部活動
制作	12月	<ul style="list-style-type: none"> ・下絵を座標変換でキャンバスに写そう。 ・黒やこげ茶や暗い紫で、明暗を作ろう。 ・色を塗り込んでいこう。 ・色々なグレーで輪郭線を入れ、形をクリアにしていこう。 ・仕上げの描きこみをしよう。 	<p>少しずつ色を重ねて、粘り強く最後まで描き上げた。</p> <p>仕上がったときの、満足そうな笑顔が、印象的だった。</p>	部活動
鑑賞	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・インドネシアの場所と形を調べよう。 ・地理の資料でインドネシアの記述を読もう。 ・アジアの美術の素晴らしさを味わおう。 ・相手校から送られてきたイラストを見て、バリも文化を学ぼう。 ・アートマイル作品を見てみよう。両国の絵を並べて見て、感じた事を話し合おう。 	感想文には、・インドネシアの方が、伝統文化を大事に生活している。・インドネシアの強烈な明るい色彩に共感をもった。・インドネシアに行ってみたくなった。・日本とインドネシアは、同じ地球上に海で繋がっている！と改めて感じた。・この作品から平和を感じる。……などが真剣に綴られていた。	美術

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	3	5・4・③・2・1	明石について、歴史を社会の先生に聞いたり、カメラを持って現地取材したり、インターネットで調べたりして、自分達の住んでいる地域の文化について学ぶ事ができた。
異文化の理解	1	5・④・3・2・1	送られてきたイラストを手掛かりに、相手国の絵を読み解くことで、日常に伝統文化が溶け込み、伝統文化が人々の絆を強めていることに、鑑賞の授業を通して気付くことができた。また、制作の合間に行ったインドネシア調べで、より深く相手国のことを理解することができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)		5・4・3・②・1	通信手段が、教師同士のフォーラムとメールしかなく、生徒同士の語り合いは、手紙のやり取りで行った。
情報活用能力 (情報収集・発信)	5	5・④・3・2・1	明石調べ、インドネシア調べも、必要な情報を集めることが出来た。絵の下絵を描くときには、それぞれが集めてきた写真や資料を共有して、うまく使って描き進めることが出来た。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)	2	5・④・3・2・1	この取り組みを通じて、お互いに仲良くなり、普段の活動でも、男子と女子の間や先輩と後輩の間に、会話が生まれてきた。
協働する力 (役割分担・協力)	4	⑤・4・3・2・1	お互いによく話し合っ、描くものを絞り込んだり、描く担当をグループ分けしたりしながら、知恵を出し合っ工夫して制作を進めることが出来た。
学習を追究する意欲		5・④・3・2・1	相手国から返ってきた作品を見て、1度は仕上げた自分達の側の作品に難点を見つけ、それをもう1度修正するなど、最後まで粘り強く制作を進めることが出来た。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		⑤・4・3・2・1	明石の文化を代表するシーンを、現実にとらわれない自由な組み合わせで構成することが出来た。また、色彩も豊かな色彩の変化で立体を表現することに挑戦し、ある一定の成果を得ることが出来た。
作品を鑑賞する力		⑤・4・3・2・1	地図帳や地理の資料を使って、インドネシアについて調べながら相手国の絵に描かれているものを理解して、自分達の絵と相手国の絵を見比べて、お互いの違いや共通するものを見つけて発表しあうことが出来た。